

# プレゼン概要

## 1. 会社概要について

会 社 名：株式会社 未来研究所  
 本 件 担 当 者：小林 忍  
 住 所：神奈川県伊勢原市沼目5丁目6-2  
 T E L：0463-96-2196  
 U R L：<https://future-research.jp/>  
 設 立 年 月 日：2021年1月22日  
 資 本 金：5,000,000円  
 従 業 員 数：10名（契約含む）  
 事 業 内 容：サイバーセキュリティ分野でのASM・ペネテスト脆弱性診断ツールの販売を軸に、サイバーセキュリティ研修の実施、およびユーザシステムのサイバー攻撃対策支援を実施する。

貴社事業形態：アプリケーションベンダー Sier 販社 VC その他

## 2. アライアンスビジネス交流会発表内容

### ●プレゼンテーションする製品・サービスの分類

- ・プレゼンテーションする製品：サイバー攻撃を受けた時、あなたのシステムの弱いところを診断してくれる、脆弱性診断ツール
- ・サービスの分類：脆弱性診断ツールを使用したいエンドユーザーが発注する形態。エンドユーザーが、既存の小売店・商流（Disty/SI）を通して購入できる SaaS サービス

### ●プレゼンテーションする製品・サービス名

- ・ASM/ペネトレーションを診断する脆弱性診断ツール・AEGIS-EW（イージス EW）  
※EW の読み方は、イーダブリュ。

### ●プレゼンテーションテーマ

- ・AEGIS-EW（イージス EW）のご紹介

### ●プレゼンテーション概要

- ・サイバー先進国である、英国、米国、NATO の主要国等では、公共系へのシステム納品時に、ASM(Attack Surface Management)およびペネテストを実施した結果提示が、求められる。が、日本には該当ルールがないため ASM 診断も実施している公共系サイトは、略、無い状態である。このため、野良端末が散見し、SE 1 年目でも乗っ取り可能な診断結果（CVSS 緊急（深刻度 1）・重要（深刻度 2））も無対応で放置され、漏洩したメールアドレスもそのままでも使用されている、状態である。

また、日本の ASM 市場での主要商材の平均購入金額は、年間 800-1500 万円であり、この金額を用立てられない公共系機関も多い。AEGIS-EW では、ASM 診断が9万円～の脆弱性診断からラインナップしており、十分に公共機関でも対応可能な価格帯となっている。品質的にも、分かり易い GUI、および 1 クリックで生成できる診断結果は、米国 NISCT、英国 GCHQ ルールに基づいた提出資料としても使用されています。

### ●プレゼンテーションの目的（ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください）

販売提携〔1〕 技術提携〔3〕 資本提携〔2〕 その他提携〔 〕

### <提携の具体的な内容>

#### ・提携先：

- ① 公共系（県庁・市町村、病院、学校、大学、他・主要 17 業者）のサイバー担当者・チームにリーチ可能な、販売店/SI/システム開発会社等・様と VAR・販売店契約を締結させていただきたい。
- ② 人材事業会社の SE さんに、弊社サイバー研修コースを受講し認定を取得していただくことで、弊社よりサイバー系の御仕事打診をさせていただきます。

### ●アライアンス対象の相手企業のメリット

- ・① 日本での ASM 市場は、まだまだブルーオーシャンです。先発優位のアドバンテージを得る事で、販社様の新たな直接口座を持つ新規ユーザ獲得が可能となります。（AEGIS-EW をドアノックツールとして、活用していただけます）
- ・② 人材事業会社の SE 技術者に、新規市場であるサイバーセキュリティのノウハウを積ませることで、将来の就業先拡大が可能となります。併せて、実案件の紹介も得られれば、SE も実践経験を積むことが出来、本人の自信にもつながります。（DX での新規開拓事業が可能になります）

